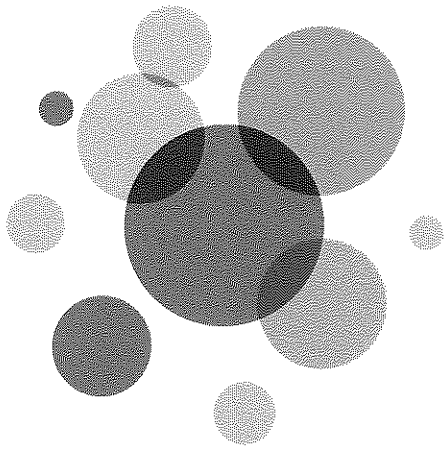




認知症の人とともに

ORANGE INNOVATION AWARD

オレンジイノベーション・ アワード 2025

応募受付中!

認知症の人とともに製品・サービスを共創する取組の認知が広がり、
共生社会が実現されることを目指し、
認知症の人との共創のプロセスを重視して開発している
製品・サービスを表彰します。

【応募期間】

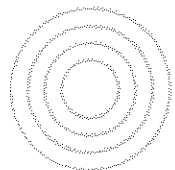
2025年11月11日(火) から

2025年12月5日(金) 正午 まで

詳しくはこちら。

<https://www.dementia-pr.com/>

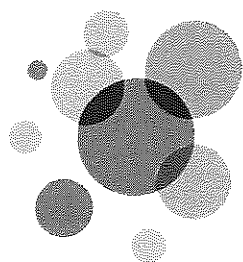
オレンジイノベーション・アワード



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

認知症当事者と 笑顔の未来をつくる。

65歳以上の7人に1人が認知症だと言われている時代。
認知症になっても使いやすい、または認知症による
困りごとをサポートする、そんな製品・サービスを
認知症当事者と「ともに」つくっていきませんか？



**ORANGE
INNOVATION
PROJECT**

オレンジノベーション・プロジェクトでは、認知症
になっても自分らしく暮らし続けられる「共生」社会
の実現を目指し、企業と認知症当事者がともに製品
やサービスの開発を行う「当事者参画型開発」の
普及に向けた取組を推進しています。

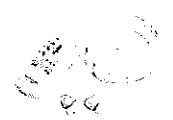
開催決定 /

認知症当事者とつくる、
誰もが生きやすい社会
～ オレンジノベーション・プロジェクト
開発製品展示会 ～

認知症当事者とともにつくった製品や
サービスが大集合！
日程や会場についての詳細は
ホームページから
ご確認ください。

公式ホームページでは、これまでの取組や
今後のイベントについて詳しく紹介しています。

オレンジノベーションプロジェクト



※本取組は、認知症イノベーションアライアンスワーキンググループの取組の一環として実施しております。

認知症バリアフリー宣言

支えあう社会の 実現をめざして。

「認知症バリアフリー宣言」は、認知症の人やご家族に安心して店舗やサービスを利用して頂くための社会活動です。

制度の目的

「認知症バリアフリー宣言」は、「日本認知症官民協議会」が進める「認知症バリアフリー」の取り組みのひとつ。認知症になってからでも、できる限り住み慣れた地域で普通に暮らし続けるための障壁を減らせるよう、企業・団体と連携して社会全体で支えあう制度です。

制度の概要

1

対象となる組織

企業・団体などを対象とします。職種や規模は問いません。

全社一括でも拠点(店舗や支社・支部など)だけでも申請・登録ができます。

2

4項目の宣言基準

申請には以下の4項目の宣言基準が求められます。

「人材育成」



社内で従業員などに対し、認知症についての正しい理解を促す育成活動を行う。

「地域連携」



地域の行政機関や専門機関(地域包括支援センターなど)、他企業などとの連携を図る。

「社内制度」



企業・団体において介護のための離職防止や当事者が働き続けられるなど、認知症をサポートする制度づくりを行う。

「環境整備」



店舗やWEBサイトなどを認知症の方やその家族が利用しやすい環境に整える。また従業員が働き続けられる職場づくりを進める。

これら4項目については、一定の基準はなく、それぞれの組織や目的・目標によって取り組みを柔軟に設定することができます。



3

ロゴマークの付与

登録後は「認知症バリアフリー宣言」のロゴマークが付与され、参加企業・団体であることの表示を行うことができます。

みなさんが日頃の生活の中で感じている
“バリア（障壁）”について、ぜひ教えてください！

厚生労働省では、認知機能の障害という障害の特性によって生ずるバリアを、認知症の人と家族等と共に丁寧に探究しながら、バリアフリー化を推進していくため、みなさんからの声を求めています。ぜひ右のコードからご回答ください。 >>>>



認知症バリアフリー
宣言の詳細は↓を
ご確認ください



認知症バリアフリー情報交換会 予定プログラム

開催日程：2025 年 11 月 21 日（金） 13 時 00 分～17 時 00 分

企業展示 ※対面形式のみ（ホール 16A） 13:00～14:00

講演会 ※オンライン視聴あり（ホール 16E） 14:00～16:00

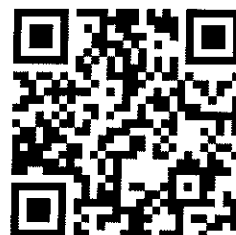
時間	所要	演題等	演者
14:00 ～14:10	10 分	開会挨拶及び 厚生労働省における認知症関連施策の動向	● 厚生労働省 老健局 認知症総合戦略企画官 （認知症施策・地域介護推進課 地域づくり推進室長併任） 野村晋 氏
14:10 ～14:20	10 分	経済産業省における認知症関連施策の動向	● 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 企画官 小野聡志 氏
14:20 ～14:40	20 分	本人メッセージ ～日々の暮らしの中での本人の工夫から いっしょに考えよう～	● 一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ 山中しのぶ 氏、藤田和子 氏 ● かながわオレンジ大使（認知症本人大使） 前田博樹 氏
14:40 ～14:50	10 分	認知症バリアフリー企業へのメッセージ ～共生社会実現へのパートナーシップ～	● 公益社団法人 認知症の人と家族の会 和田誠 氏
休憩 10 分			
15:00 ～15:15	15 分	生活協同組合の取り組み	● 一般社団法人 全国コープ福祉事業連帯機構 本木時久 氏
15:15 ～15:30	15 分	福井銀行における認知症バリアフリーの 取り組みについて	● 株式会社福井銀行 伊藤浩美 氏
15:30 ～15:45	15 分	認知症当事者とともに活動することで理解を 深める ～ステップ四日市の取り組み～	● 四日市市介護予防等拠点施設 ステップ四日市 上田奈央 氏 ● 四日市市在住 北原浅雄 氏
15:45 ～16:00	15 分	オレンジイノベーション・プロジェクトの成果と 今後の展望 ～認知症の人の生活を“豊かにする・楽しみを つくる”介護美容の取り組み～	● 一般社団法人 日本介護美容セラピスト協会 酒井宗政 氏
16:00		閉会挨拶	● 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 企画官 小野聡志 氏

※演題、演者等は予告なく変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

交流会・企業展示 ※対面形式のみ（ホール 16A・16E） 16:15～17:00

事後アンケートへの回答のご協力をお願いします。

アンケートフォーム：<https://forms.gle/Y2RDRNr6kVGRmY4L6>



11/21 現地参加企業・団体一覧

	企業名/団体名	区分
1	大阪大学 医学部 臨床遺伝子治療学	自治体・団体等
2	中央大学 研究開発機構	自治体・団体等
3	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 グローバル・メディア学科	自治体・団体等
4	埼玉大学	自治体・団体等
5	鹿児島大学 医学部保健学科	自治体・団体等
6	社会福祉法人池上長寿園 大田区若年性認知症支援相談窓口	自治体・団体等
7	一般社団法人全国コープ福祉事業連帯機構	自治体・団体等
8	日本金融ジェロントロジー協会	自治体・団体等
9	社会福祉法人 晋栄福祉会	自治体・団体等
10	東京都荒川区福祉部高齢者福祉課	自治体・団体等
11	東京都北区福祉部長寿支援課	自治体・団体等
12	東京都品川区高齢者地域支援課	自治体・団体等
13	若年認知症グループどんどん(地域活動団体)	自治体・団体等
14	赤羽高齢者あんしんセンター	自治体・団体等
15	公益社団法人認知症の人と家族の会	自治体・団体等
16	公益社団法人認知症の人と家族の会東京都支部	自治体・団体等
17	NPO健やかまちづくり	自治体・団体等
18	社会福祉法人新生寿会	自治体・団体等
19	公益社団法人認知症の人と家族の会神奈川県支部	自治体・団体等
20	(福)桜井の里福祉会	自治体・団体等
21	社会福祉法人東京栄和会なぎさ和楽苑	自治体・団体等
22	東京都武蔵野市高齢者支援課	自治体・団体等
23	神奈川県大和市人生100年推進課	自治体・団体等
24	認知症の人と家族の会	自治体・団体等
25	世田谷区地域包括支援センター	自治体・団体等
26	神奈川県相模原市 在宅医療・介護連携支援センター	自治体・団体等
27	おおたハーモニー (大田区若年性認知症当事者会)	自治体・団体等
28	株式会社デニーズジャパン	企業
29	豊島株式会社 営業推進室	企業
30	株式会社グローバー	企業
31	株式会社三井住友銀行	企業
32	東和薬品株式会社 社長室 渉外統括部 健康医療戦略課	企業
33	ソフトバンク株式会社 CSR本部	企業
34	株式会社ルネサンス	企業
35	株式会社朝日新聞社	企業
36	株式会社チヨダ	企業
37	太陽生命少子高齢社会研究所	企業
38	SOMPOケア株式会社認知症プロジェクト推進室	企業
39	(株) 第一興商 エルダー事業部	企業
40	三井住友信託銀行 人事部	企業
41	株式会社kittoi	企業
42	住友生命保険相互会社企画部	企業
43	株式会社吉野家	企業



認知症になっても輝けるまちへ とも ゆめ伴プロジェクトin門真

認知症の方や高齢者が主役となって活躍する場や活動を創出しています！



RUN伴+門真

みんなで街を歩き、ゴールをめざすイベント！地域のつながりを深めている



ゆめ伴サロンinちどり

地域の人や施設で暮らす高齢者も共に楽しく、好きな手作業を行う集いの場



ゆめ伴サロンinれんか

折り鶴づくりや小物づくりの手作業をしながら、地域の人たちが交流



高校生との交流プロジェクト

福祉を学ぶ高校生に、高齢者との対話や交流を通した様々な生きた学びを提供



いのち輝く折り鶴100万羽プロジェクト

折り鶴づくりで立場を超えたつながりを創出。大阪・関西万博会場でも約5万羽の折り鶴を展示。折り鶴でつながる笑顔の輪は地域や国を超えて広がっている



とも

ゆめ伴プロジェクト in門真実行委員会

◆事務局：大阪府門真市御堂町14-1

門真市社会福祉協議会内

電話 06-6902-6453

メール yumetomo.kadoma@gmail.com

☞ホームページのQRコード



◆受賞歴

「第5回ジャパンSDGsアワード 特別賞」受賞

「第8回 健康寿命をのばそう！アワード」厚生労働大臣最優秀賞 受賞

「第3回 認知症とともに生きるまち大賞」受賞（NHK厚生文化事業団）

「第46回 産経市民の社会福祉賞」受賞（産経厚生文化事業団）

認知症になっても輝けるまちへ ～いのち輝く折り鶴100万羽プロジェクト～



この活動は、認知症になっても輝けるまちをめざして、認知症の方や高齢者が折り鶴づくりの担い手の主役として活躍する取り組みです。この実践の中で、立場を超えた笑顔のつながりが生まれ、一人ひとりのいのちが輝いています。

そのいのちの輝きと共に生まれた約5万羽の「いのち輝く折り鶴」は、大阪・関西万博の会場内にも飾られました。



今後も、一羽の折り鶴から生まれる笑顔と共に「認知症になっても輝けるまち」を全国、そして世界へと広げて参ります。



【主 催】 ■ゆめ伴プロジェクト in 門真実行委員会
■TEAM EXPO 2025 折り鶴JAPAN
【共創パートナー】 大阪モノレールグループ



これまでの歩み



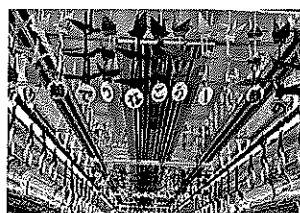
2021年

ドバイ万博日本館来場者への記念品として認知症の人や高齢者などの手作り「おもてなし折り鶴」を配布



2023年

「いのち輝く折り鶴JAPANパビリオン」をイズミヤショッピングセンター門真2階に開設



2024年

大阪モノレールの列車内に折り鶴を飾った「いのち輝く折り鶴列車」が運行される



2025年

大阪・関西万博会場内の団体休憩所の壁面に約5万羽の折り鶴が、会期中ずっと飾られ、多くの来場者を笑顔にした